

3年生 国語科学習指導案

平成29年5月

1. 単元名 国語じてんのつかい方を知ろう
2. 単元の目標
 - ・国語辞典の仕組みや使い方を理解することができる。
3. 単元計画

時	学習内容	評価規準
①	国語辞典の仕組みと引き方を理解する。	【関】・国語辞典に興味を持ってその必要性に気づき、活用しようとしている。 【言】・語の活用について知り、国語辞典の見出し語の形を理解している。伝国(1)イ(ウ) 【言】◎国語辞典の仕組みと使い方を理解している。伝国(1)イ(カ) 【書】・国語辞典を使って、伝えたい意味に合った漢字や言葉を選んで書いている。B(1)オ
②	国語辞典の語の配列を知り、使い方に慣れる。	
③	活用のある語の見出し語の形を知る。国語辞典を使って、文脈に合った表記や意味を調べ、国語辞典の必要性を確認する。	

4. 本時の展開 (1/3)

時間	主な学習活動	教師の支援
5分	1. 国語辞典にふれる。	・どんなことが書いてあるのか、どういう時に使うのかを考えさせ、本時のめあてを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 国語辞典のひみつをみつけよう。 </div>		
15分	2. 国語辞典を使う目的、仕組みを理解する。	・言葉の意味が分からない時にはどうしていたか、これまでの経験を想起させ、辞典を使う目的に結びつける。 ・どんな仕組みになっているか、実際に国語辞典に触れながら考えさせる。 ・「つめ」「はしら」「見出し語」などの用語をおさえる。
10分	3. 見出し語の並び方を考える。	・言葉が五十音順になっていることをおさえる。 ・実際に辞典を使って言葉を引いてみる。

時間	主な学習活動	教師の支援
10分	4. 実際に言葉調べをしてみる。	• 教科書の中からみんなで同じ言葉を調べる。(担任の先生に言葉を指定してもらう)
5分	5. ふり返りを書く。	

5. その他

○次時から調べた言葉に付せんをつけていく。

4. 本時の展開 (2/3)

ねらい 清音・濁音・半濁音の配列を理解して早く辞典を引くことができる。

時間	主な学習活動	教師の支援
5分	1. めあての確認。	・前時のひみつを想起させ、本時のめあてを確認する。(五十音順、つめ、はしら)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 国語辞典の早引きのコツを見つけよう。 </div>		
20分	2. 国語辞典の配列を理解する。 ○ワークシートを使い、清音、濁音、半濁音の順に並んでいることを見つける。 ○「ゲーム」、「チーム」などのようにのばす音を含むカタカナの言葉について知る。	・清音、濁音、半濁音の順に並んでいることをワークシートを使っておさえる。 ・言葉の位置を予想してから引くと早く引けることに気付かせる。 ・のばす音については、一斉で確認をする。 ・実際に辞典を使って言葉を引いてみる。
10分	3. 辞典を使って意味調べをする。 ○新聞記事を使って意味調べをする。	・付せんの使い方の確認。 ・新聞記事を使うことで、興味をもたせながら辞典を引かせる。
10分	4. ふり返りをする。	・学習して分かったことをめあてにそってふり返りをさせる。

4. 本時の展開 (3/3)

ねらい 語の活用について知り、国語辞典の見出し語の形で調べることができる。

時間	主な学習活動	教師の支援
5分	1. めあての確認。	・前時のコツを想起させ、本時のめあてを確認する。(清音、濁音、半濁音、のばす音)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 国語辞典の早引きのコツを見つけよう、パート2 </div>		
20分	2. 教科書で形をかえる言葉を理解する。 ○「開ける」、「青い」、「しずかだ」についていろいろな活用の仕方があることを知る。	・言葉は形をかえて文章に使われているので、全ての言葉がのっているわけではないことをおさえる。
15分	3. 辞典を使って意味調べをする。	・辞典を使って、いろいろな言葉を引かせて、楽しみながら国語辞典に慣れさせる。
5分	4. ふり返りをする。	・学習して分かったことをめあてにそってふり返りをさせる。

国語辞典の使い方チェックシート

() 年 名前 ()

1. おぼえているかな？それぞれの名前。

あける—アスファルト ()

あ ()

あける【明ける】①朝になる。「夜が—」⇓暮れる
②新しい年になる。「年が—」⇓暮れる ③ある期間が終わる。「つゆが—」

あける【空ける】①からにする。すきまをつくる。「場所を—」⇓ふさぐ ②使わないようにする。「手を—」③るすにする。「家を—」

あける【開ける】①出入りできるようにする。ひらく。「戸を—」⇓閉める ②間をおく。「かんかくを—」

あご 人や動物の口の上下の部分。下の部分を動かして口を開けたりとじたりする。

アコーディオン じゃばらを手でのびちぢみさせながら、指でけんばんやボタンをおして音を出す楽器。

あさ【朝】夜が明けてから、日がそれほど高くない間。「もや」「つゆ」

あし【足場】①高い所で工事をするときなどに、丸太や鉄のパイプを組んで、足をのせる台を取りつけた所。②足もとの具合。「道が雨にぬれて—が悪い」③目的の場所へ行こうとするときに、うまく使える乗り物があるかどうかの様子。「駅に近いので—がよい」

あしぶみ【足踏み】①同じ所において足を上げ下げすること。②予定どおりに進まないじようたい。

2. つぎのことばを国語辞典を使って調べてみよう。() に出てくる順番を書こう。

- ① () あさり
- () あこやがい
- () あなご

- ② () あおい (青い)
() あかい (赤い)
() あかむらさきいろ (赤紫色)

- ③ () はす (蓮)
() パス
() バス

- ④ () じゅう
() じゅう (十)
() しゅう (週)

3. つぎの文の _____ 線の言葉の意味を調べて、あてはまる意味を書きましょう。

国語辞典のつかい方を知ろう

() 年 名前 ()

1. おぼえているかな？それぞれの名前。

The image shows a page from a Japanese dictionary with the following entries and annotations:

- あける—アスファルト** (circled in blue) → ()
- あ** (circled in blue) → ()
- あける【明ける】** ①朝になる。「夜が―」⇄暮れる
②新しい年になる。「年が―」⇄暮れる ③ある期間が終わる。「つゆが―」
- あける【空ける】** ①からにする。すきまをつくる。「場所を―」⇄ふさぐ ②使わないようにする。「手を―」③するすにする。「家を―」
- あける【開ける】** ①出入りできるようにする。ひらく。「戸を―」⇄閉める ②間をおく。「かんかくを―」
- あさ【朝】** 夜が明けてから、日がそれほど高くない間。「―もや」「―つゆ」
- あご** 人や動物の口の上下の部分。下の部分を動かして口を開けたりとじたりする。**アコーディオン** じゃばらを手のびちちみさせながら、指でけんばんやボタンをおして音を出す楽器。
- あし** ①脚。②足。③雨にぬる場所。④的の場。⑤き、ぎに、がある。⑥「駅に近
- あしづみ** 「所にい

2. 今日の学習のかんそうを書きましょう。

国語辞典の使い方を知ろう

() 年 名前 ()

1. つぎのことばを国語辞典を使って調べてみよう。() に出てくる順番を書こう。

① () ふた

() ぶた

② () はす (蓮)

() パス

() バス

③ () じゅう

() じゅう (十)

() しゅう (週)

2. 今日の学習のかんそうを書きましょう。

国語辞典の使い方を知ろう②

() 年 名前 ()

1. 「すいせんのラッパ」に出てきた——線の言葉の意味を国語辞典を使ってしらべて書きましょう。

①日の光が、一面にちりました。

②かきねのすみっこのおち葉

③かえるのダンサーだ！

2. ——線の言葉はどんな漢字を使いますか。国語辞典でしらべて書きましょう。

①えき前の広場で友だちにあう。

①

②足にあうくつをさがす。

②

3. _____ 線の言葉はどんな意味でつかわれているか、国語辞典ですらべて書きましょう。

• 妹は、明るいせいかくだ。

• 日の光が入って、明るい和室だ。

• 本の山にかこまれている。

• 高い山にのぼる。

4. 今日の学習のかんそうを書きましょう。
